

糸魚川市身障者会だより

第20号

年頭のご挨拶

会長 齊藤 喜平治

謹んで、新春のお喜びを申し上げます。

会員の皆様におかれましては、良いお年を迎えられた事と思います。また、日頃より障害者事業につきまして格別なるご理解、ご協力を頂き厚くお礼を申し上げます。本年も昨年同様変わらぬご支援をお願いいたします。

さて、昨年一年間、身障者会では気楽に誰もが参加できるスポーツ大会、楽しい一泊旅行、身障者のつどい、またミュージックふれあい交流会など、障害者に適した多くの事業を進め会員同士の親睦を深めて参りました。交流会事業といたしましては、第7地区ブロックの上越市、妙高市、糸魚川市の3市の身障者会の方が集まり、スポーツ交流会、ミュージックふれあい交流会などの地域交流事業に取り組んでまいりました。

また、県身連事業といたしまして表彰などが行われる

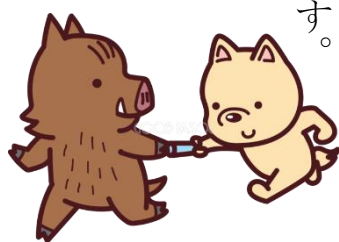
県大会、ミュージックふれあい交流会に多くの方から参加して頂きました。これからも大勢の皆さんのご協力をお願いいたします。

現在、身障者会においても、年々会員数が減少し、心配されるようになってきました。少子高齢化が進み行事に参加するのが大変だという声も聞かれます。これからも誰もが参加できる事業を進めて親睦を深めていきたいと思えます。また、身障者会では魅力ある会を目指して会員の拡大に結びつけていきたいと思っております。

さて、昨年は災害の多い年でした。日本各地で大きな災害が発生しております。7月の西日本豪雨、9月の北海道胆振東部地震など、現在でも多くの被災者が不自由な避難生活を余儀なくされております。被災された皆様に対し、心よりお見舞い申し上げます。また私たち身障者会からも心ばかりではありますが2つの災害に対し、支援金をお送りさせていただきました。

糸魚川市駅北大火が発生してから丸2年が過ぎました。今、糸魚川市は復旧そして復興へと住みよい街づくりに向けて進んでおります。会員の中にも被害にあわれた方がおられます。早い復興を願うばかりです。

終わりに、皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしますとともに、新しい年が災害のない穏やかな年となることを願います。



県ミュージックふれあい交流会

9月9日(日)に亀田の新潟ふれ愛プラザを会場として、「第28回ミュージックふれあい交流会」が開催され、糸魚川からも第7地区の代表として2名の方が出場されました。残念ながら今年も賞に入ることはできませんでしたが、なんと！すばらしい応援団のパフォーマンスに応援をいただくことができました。参加された皆様、大変お疲れ様でした。応援賞受賞、おめでとうございます。

♪ 応援賞を頂いての思い ♪ 佐藤 祥子

平成最後の亥年を迎えて、また新時代が目前になりますと「心機一転」今年こそは目標を立て何かをしたい、何かをしなければと思うところですが、時が早くなぜか前の空かない日々を過ごしてしまうのは私だけでしょうか？

さて、本題についてですが、昨年9月9日に新潟で開催されたミュージックふれあい交流会では、代表出場者あつてこそその応援賞でありました。

当日に至るまでは会長さんからの応援依頼もあつて出



場された方にはぜひとも頑張って歌って欲しいという願いを込めてエールを送りたく、微力ながら動きまわりました。会場では他のチームも気になりましたが、私達は精一杯の応援パフォーマンスをして声を出して目立つよう努めました。

結果、特別賞の応援賞を頂き歓喜しました。会員が一致団結して盛り上がった証だと思っています。私は帰路のバスの中で達成感と満足感に浸りました。

新潟県障害者スポーツ大会

ボッチャ競技



9月23日(日)に新潟ふれ愛プラザにて開催されました「新潟県障害者スポーツ大会ボッチャ競技」に糸魚川からは4チーム11名が参加しました。今年度は健闘むなしく全チームが予選リーグ敗退となってしまいました。

☆第19回新潟県障害者スポーツ大会ボッチャ競技結果☆

優勝 リハセンAチーム
準優勝 大潟はまぐみBチーム
第3位 ふれあいボッチャクラブB



ねらって、ねらって...



こっちのほうかな?



えいっ!それっ!



参加された皆様、おつかれさまでした

第十九回新潟県障害者スポーツ大会

ボッチャ競技に参加して 白澤 實

今年度も前年同様、九月に新潟市の亀田にある新潟ふれあいプラザに於いて県内各地から障害者が一同に会しボッチャ競技の大会が開催されました。

私達糸魚川地区からは四チーム11名と沢山の方が参加くださいまして、先ず厚くお礼申し上げます。私も今回で県大会に2回出場させてもらい、皆さんと役員の方々には本当に感謝して致しております。ボッチャ競技の中身は意外と単純ではありますが、いざ本番でやってみますと考えているようにはいかず、実際とのギャップに苦しみます。

今回の相手チームは新潟地区の方々と、競技を行う中で感じた事は、リーダーになる方が他の2人に指示し命令通りに行くことで好成绩となっているということでした。やはりすべての競技に言えることは、リーダーによって勝負が左右されるということ、私達もこれからこうした良い面を見習ってリーダーの養成が必要なのではないかと思えますがいかがでしょうか?

今回のチームメイトの斉藤会長さんと樋口さんには頑張ってもらいましたが、糸魚川から出場した四チームはすべて惨敗に終わりました。

来年度に向けて今迄と違って練習をいかに計画的に実

施し、少しでも上達して入賞をめざす努力が必要だと感じました。努力をすれば結果はついてくると確信して練習を通じて切磋琢磨に心掛けたいものです。

今後は、県大会に出場する前に上越地区の妙高、上越、糸魚川の3地区の連携を今迄と違ってどのような方法で行って効果を得るかが課題になるうかと思われまます。皆さんも積極的に参加協力をなされます事を切望し、来年度の大会までに実行に結びつけ、良い結果と成果で喜ぶたいものです。お願いいたします。

一泊旅行を実施しました

10月23日(火)～24日(水)にかけて、弥彦・岩室方面への一泊旅行を実施しました。

毎年、紅葉が目的でこの時期に実施していますが、今年度はこの時期になってもなかなか紅葉が進まず、少し残念な景色の中での旅行となりました。

二日目は雨模様の中の移動となりましたが、分散飼育されている朱鷺の見学や、寺泊のアメ横でのお買い物などを楽しみました。



弥彦山山頂にて



旅の思い出



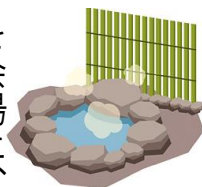
一泊旅行を楽しみに

川野 百合子

会員の皆様、新しい年を迎えてお元気の事と思います。さて、私も会員になって早くも四年目でしょうか？昨日の事もすぐには思い出せない今日この頃です。秋の旅行が楽しみです。昨年は岩室温泉へ行きました。が、お昼に弥彦山の山頂のレストランでいただいた生ビールが最高でした。今年も秋の旅行を楽しみに過ごしたいと思います。本年も宜しくお願い致します。



身障者のつどい



11月28日(水)に糸魚川の焼山温泉「清風館」を会場に、30年度の「身障者のつどい」を開催しました。

午前中は市役所福祉事務所高年齢係の立川保健師様より、「介護予防・元氣応援教室」を開講していただき、座つてもできる簡単な体操も取り入れながら、要介護にならないための注意点を学びました。

休憩をはさんで午後からは例年どおりのビンゴゲームで盛り上がり、お酒で喉を潤しながら、時間の許す限り大好きなカラオケを楽しみました。今年度の行事を締めくくる楽しい会となりました。



今年もおつかれさまでした



介護予防、頑張りました!!

30年度身障者のつどい



講師先生に合わせてトレーニング



座ってできる体操



美味しい料理と舌鼓



♪ みんなで合唱 ♪



たのしくデュエット



熱唱中!!

身障者のつどいに参加して

古見 隆夫

一年もあつという間に過ぎ、今年度最後の行事である身障者のつどいは今回は処を替えて早川郷の焼山温泉にて開催されました。

まずは、介護予防・げんき応援教室と題して市役所の立川保健師さんのご指導で軽体操を老体に鞭打ちながら皆さんで頑張りました!!

続いて、休憩時間につるつるの湯に浸かって皆さんスベスベの肌(美しくなつて)喉が鳴ったところで懇親会が白澤さんの司会の下、松山さんの乾杯でスタートしました。

途中、私の名司会の下に豪華景品が当たるビンゴゲームや日頃の喉を自慢するカラオケで和やかに楽しみました。中には、仲居さんとデュエットされた方もいました(↑写真を見てください)。うらやましいです!! また来年度も多くの会員の皆さんに行事に参加してもらいたいです。よろしくお願いします。





今年度も会員の中で在宅で寝たきりの方や施設のデイサービス等を利用していらっしゃる方等に「友愛訪問」を実施しました。

30年度は14名の会員の方に、各支部の役員の皆さまから、お見舞いの品物をお届けいただきました。ご協力ありがとうございました。

友愛訪問への想い／人と人が支え合える空間／

斉木 房子

現代社会は穴の開いた「たらい」だと思う。ポタポタと水が落ちるけど、上から見ても穴のありかは分からない。でも、例えば社会生活を送る上で生活困窮者と同じ目線で見ると社会の穴に気付かせてもらえる。その穴をふさぐことで自分自身もこぼれ落ちにくい地域づくりができる。同じようにバリアフリーの社会にするために、どここの段差からなくしたらよいかと考えたら、障がいがあつて車いすを使用している人に聞くのが一番いいわけである。コミュニケーションというのは100%の支え手も、支えられ手いない空間であつて、人と人が支え合える関係の中でこそ真の共生は生まれる、と・・・。

私は今年度六名の会員様宅へ「お元気でしたか？事務

局よりのお届け物です。」と言って訪問させていただきました。お一人として寝込んでいる方はおらず、お元気な姿が拝見できて、嬉しかったです。品物を受け取られた会員の皆様も私の訪問に手を握って喜んでくださいました。

今後もこうした活動を通じて、日頃の会の活動に参加したくてもできない仲間に笑顔を届けていきたいと思っています。

あとがき

会員の皆様、いかがお過ごしですか。

平成時代もまもなく終わりを告げ、今年は新元号となる改元の年でもあります。私も年を重ねるたびに時の流れが速く感じます。今まで健康で有りますので、色んな行事に参加してきましたが、また元号が変われば新たな気持ちで頑張っていきたいと思っています。

会員の皆様も健康に注意して、新しい年もさまざまな行事への参加をぜひお願いいたします。

(渡辺記)



発行 糸魚川市身体障害者会
事務局 糸魚川市寺町4-3-1
電話 025-552-7700